

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

(株)株式会社 音戸工作所 八本松工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松飯田1丁目1番1号

(3) 業種

自動車部分品・付属品製造業 3113

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本方針

株式会社音戸工作所は自動車部品等の設計・開発、製造及び出荷に関わる全ての企業活動において、自然と調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。このため次の行動指針を定めます。

2 行動指針

- (1) 私たちは、環境に関する法規制及び同意するその他の協定を順守するとともに、自己管理を徹底します。
- (2) 私たちは、企画・開発段階から生産・使用・廃棄に至るまで一貫して環境との調和を配慮した企業活動を推進します。
- (3) 私たちは、地球環境保全に貢献するため、廃棄物の削減、再利用、省エネルギー、省資源を推進し、汚染予防に努めます。
- (4) 私たちは、環境目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。
- (5) 環境方針を職場に掲示すると共に、ポケットブックを全員に配布し、環境方針及び環境目標を理解させる。この環境方針は、当社のホームページで公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成19年度	平成24年度
二酸化炭素	13,310	11,400	11,103

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成年度)	削減目標		目標年度 (平成年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
フロン類				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	11,400	54,717	0.21	4.8	9,500	47,000	0.20
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量	11,400	54,717	0.21	4.8	9,500	47,000	0.20
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.882	3.6	-	-	0.850
目標設定の考え方	基準年度と直近のデータを比べた場合、「生産量」が減少している為、併せて「排出量」も減少すると考えられる。「原単位削減目標」は基準年度よりわずかながら、減少傾向が見込まれる。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材料の単位重量当たり)	<ul style="list-style-type: none"> ・低燃費車への切り替え ・暖房器具を灯油を使わないタイプに切替え ・フォークリフトの電動化
2	電気使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材料の単位重量当たり)	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時の消灯徹底 ・省エネ型電気機器への切替え ・高性能インターバ機器への切替え
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

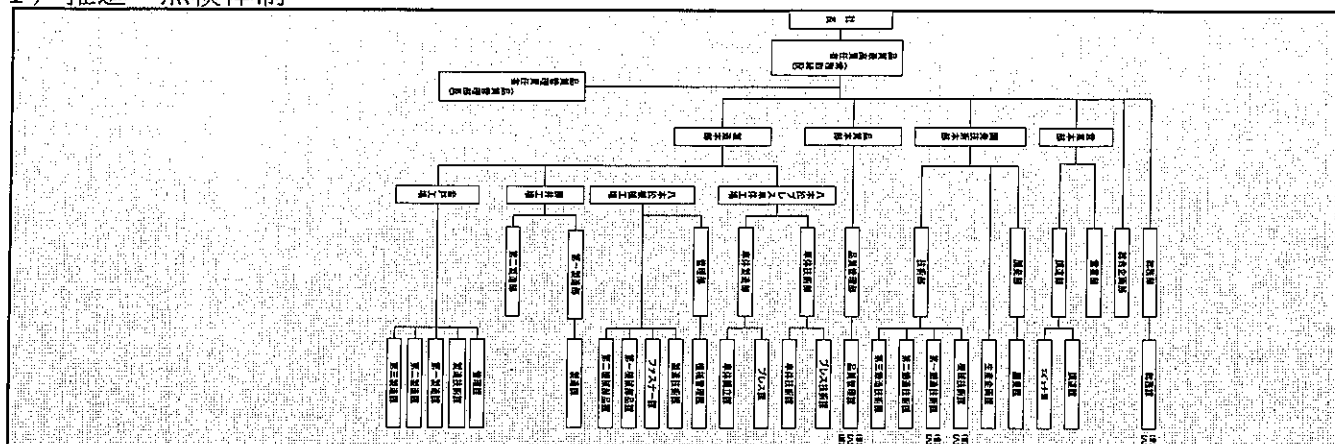
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	再利用の促進等による 油脂類の購入削減	購入量を原単位で年間5%削減	・リサイクル
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

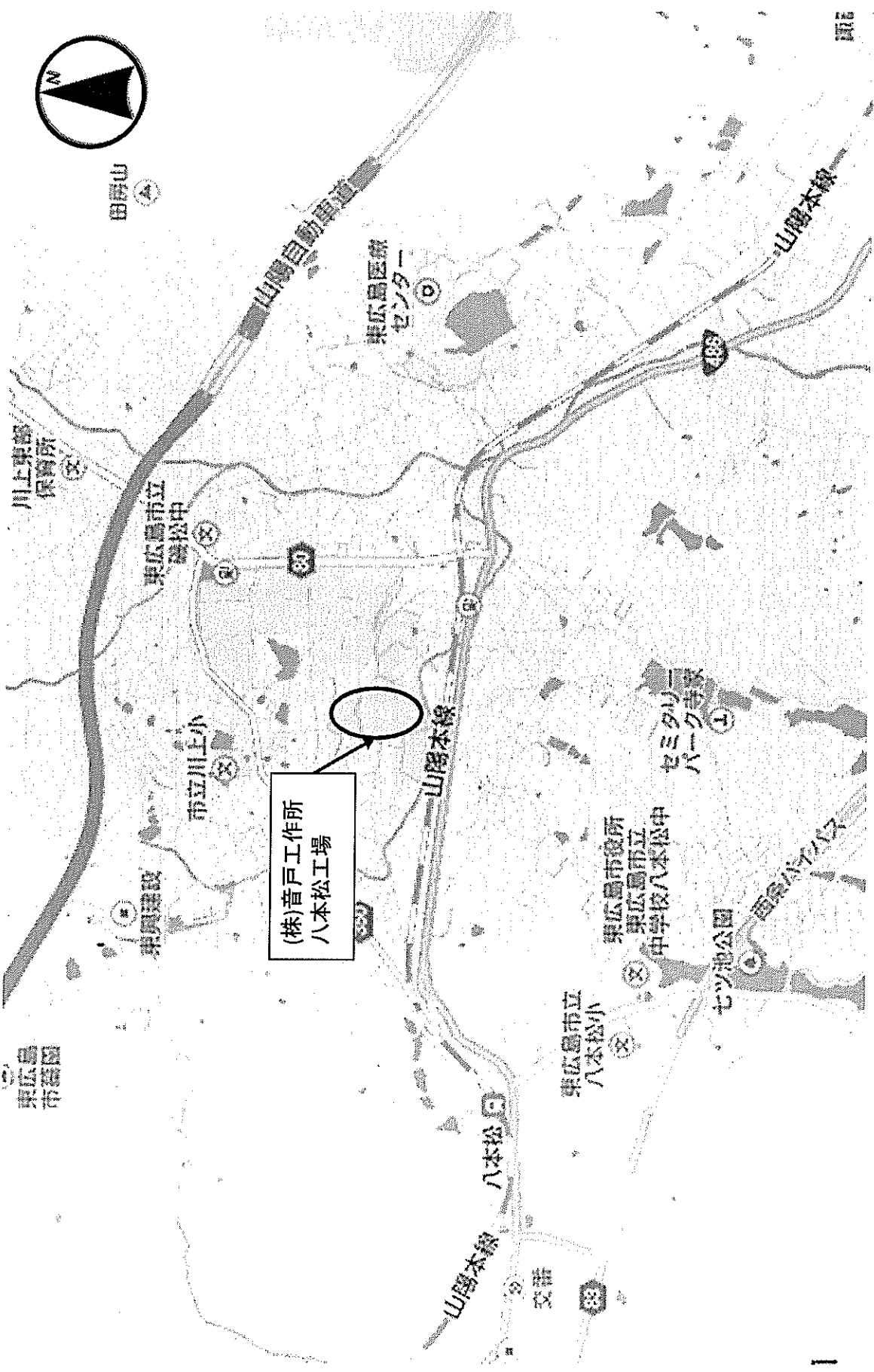


(2) 実施状況の点検・評価

環境事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況を把握、点検及び問題点の検討を行い、環境委員会に於いて、定期的に評価見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備付けいつでも閲覧が出来るようにする。



田原山

(株)音戸工務所
八本松工場